

平成28年度第1回福光地域審議会会議録

1. 開催日時 平成28年9月21日（水）午後3時00分～5時00分
2. 開催場所 福光庁舎302会議室
3. 出席委員 15名 池田恵里子、石崎直樹、上坂甚誠、蟹野正男、川合声一、齊藤勇一、高島克美、東田喜代志、得能金市、豊田正規、西井満年、西村信二、堀郁夫、堀文夫、湯淺武
欠席委員 0名
4. 市側出席者 17名 田中市長、齊藤市長政策部長、吉澤市民協働部長、米田ブランド戦略部長、上口担当部長、芝井次長、此尾課長、市川課長、鳥越福光行政センター長、田野主幹他7名
5. 傍聴者 3名
6. 協議議題 (1) 南砺市文化芸術振興基本計画について
(2) 南砺市山村振興計画について
(3) 庁舎再編に係る意見交換
その他
(1) 空き家調査の概要について
(2) 南砺市行政改革推進委員の推薦について
7. 資料 1 南砺市文化芸術振興基本計画について
2 南砺市文化芸術振興基本計画 概要版
3 南砺市山村振興計画について
4 南砺市山村振興計画 概要版
5 庁舎再編に係る意見交換会資料
6 空き家調査について
8. 会議経過
○開会 (事務局 行政センター長から開会の宣言を行う)
センター長から新任の地域審議会委員の紹介
○会長挨拶 お忙しい中、全員の出席で始めさせていただく。各地で災害が相次いでいるが、南砺市でも災害に対する準備を怠りなくしていかなければならない。議題が沢山ある中、平成31年度までに庁舎再編について決めなければいけない。皆さんの忌憚のない意見を聞いて、次世代に繋げていきたい。
○協議 (蟹野会長が議長となり、順次議事を進める)
(議長) 議題 南砺市文化芸術振興基本計画について説明を求める。
(米田部長) 資料1、資料2に基づき説明
(議長) 議題について質疑を求める。
(委員) 基本計画はもう決定されているが、コンサルタントが入っているのか？ 市独自でやっているのか？
(米田部長) コンサルタントは特に入っていないが、委員のアドバイザーとして大学教授、

専門家に入ってもらっている。

(委員) それはどこかに書いてあるのか？

(米田部長) 今日付けている資料は概略版で、冊子になっている基本計画には書いてある。

(委員) 大学教授はどこまで、責任を持って話をしているのか疑問視している。これからいろいろと提言していきたいので、しっかりと間違いないようにやってほしい。学者でなければいけないところもあるが、学者は学者なので、学者の言ったことをそのまま行なった場合、とんでもない結果になる事がある。まずはしっかりとチェックをお願いしたい。

(米田部長) 実施計画を作っているところで、今、ご指摘いただいたご意見を肝に命じて取り組ませていただきたい。

(田中市長) 今、ワーキンググループを作って、具体的に南砺市でやっている人を集めながら、作成している。言われた通り、学者がただ言っていた、ということのないようにしていきたい。

(委員) 市民の皆さんの意見を中心に、地元の文化は市民の人が一番知っているのだから、その辺を考えて作ってもらいたい。

(議長) 議題 南砺市山村振興計画について説明を求める。

(芝井次長) 資料3、資料4に基づき説明

(議長) 議題について質疑を求める。

(委員) いろいろな施策を考えておられるが、「山村活性化支援交付金事業」の西太美の事業の件だが、地元の人がやるということで、ただでさえ人がいないのに出来るのかと気になる。

(芝井次長) 先程、金額も言いましたが、上限額があるということで、当然、市の方もいろいろ側面的に協力させていただいている。基本的には、地元でできる範囲、地元から出てきた計画ということで表にあげた次第だ。西太美の方は一生懸命頑張っておられる。

(議長) その他 空き家調査について先に説明を求める。

(吉澤部長) 資料6に基づき説明

(議長) 議題について質疑を求める。

(委員) アンケートはいつやるのか？

(吉澤部長) 10月から第一回の委員会を予定していて、委員会をしたうえで、アンケートを発送するので、10月中になる。

(委員) 10月以降、行政推進委員の方にアンケートが発送されるそうなので、皆さんご協力を。

(委員) 行政推進委員とは？

(吉澤部長) 各自治会の自治会長です。

(委員) 空き家の定義とは？

- (吉澤部長) 基本的には人が住んでいない建物、住宅になるかと思う。ただ、倉庫みたいなもので、管理されていないものも、把握する必要がある。住民の方が安心して暮らせる地域作りということで、仮に荒れてきた時に、まわりの住宅等に影響が出てくるようであればそれは問題なので、そういったことも含めてこの計画について考えていく必要があると思っている。
- (委員) なぜ、そんなことを聞くのかというと、普段は住んでいなくて、富山に住んでいて、たまに帰られる家がある。1週間に1回とか、1月に1回とか。
- (田中市長) 適正管理されているかどうかということだ。
- (委員) それも難しい。アンケートを作る時にその辺をはっきり書いてもらわないと、聞かれたら分からない。
- (吉澤部長) 出来るだけわかりやすい内容になる様に調整して、少しでも判断しやすい形にしたいと思っている。
- (委員) 空き家調査はわかったが、言うなれば、モニター調査だ。アンケートの調査項目はどのような項目か？
- (吉澤部長) まず、今回のアンケートで行政推進委員の皆様をお願いすることは、空き家の所有者、空き家の住所、所在、それと、空き家となっておよそ何年くらい経過しているか。およそなので、町内の方であれば、その辺、ある程度何年くらいかな、というとらえ方で丸で囲んでいただく。空き家の状態、例えば、今住んでないけど富山にいるとか、盆・正月にしか帰って来ないけど、きちんと片付け・掃除してある、といった部分のチェック。全く何もなされていない、放置など、それぞれ、丸で囲む形の調査を今は考えてる。その後、所有者向けの個別アンケートに関しては、協議会等の中で具体的な内容について決めて、調査させていただきたい。これは行政の方から、所有者の方に案内して、対応する。

(議長) 議題 庁舎再編に係る意見交換について説明を求める。

(上口担当部長) 資料5に基づき説明

(議長) 議題について質疑を求める。

(委員) 自治振興会連合会との意見交換会というが、自治振興会連合会がこんな意見を出すのはおかしいと思う。手前味噌な話ばかりで、建設的な考えではないし、こんな大きな話を振興会でやっていること自体がおかしい。山間部と機能分担をするということだが、道路網も発達しているし、土砂災害は起こる時は起こるものなので、数年で対応しないといけない。そんなことにお金をかけていたら大変なことになる。学校庁舎を転用する、まして病院の転用なんて絶対駄目だ。病院は建物はしっかりしているが、地盤が危ない。砺波平野の真ん中に新築するなど、一番断層が危ない所に行ってどうするのか？災害のときにどうするのか？国道沿いがないといけない。私は東北に何度も行っているが、東北は復旧に時間がかかっている。バイパス沿線上に防災の拠点、緊急対応できる庁舎を、全国的に作っている。

- (委員) 私もちよっと腹が立った。資料の数字を見て、また、道路網、交通網を考えた時、現在ある中での対応を考えたが、福光地区以外の皆さんの意見はこのような意見だった。福光の皆さんはこの数値を見たら、何も言えなくなった。それで今日は福光地区の皆さんの意見を聞いてみたいという事で、数字をみるとわかるのだが、忌憚のない意見を言っていただきたい。
- (委員) 資料を見るまでもなく、私に言わせると、合併した時に一番人口の多い福光、一番新しくて、一番大きい福光の庁舎、何故ここに本拠を持って来なかったのか。これが大きな間違い。市長は福野かもしれないが、だからといって、あの時福野庁舎の改修にどれくらいのお金をかけた？ 10何億かかっている。福光ならそんな費用をかけずにやれた。今から言ってもしょうがない事だけど、この資料を見ても、一番お金のかからない、一番新しい大きい庁舎を活用すべきだ。
- (委員) 歴史的背景から考えると、大平内閣の時、50万人都市構想というのがあって、砺波市と福光、南砺市を合併したら、ちょうど10万で、その時何処に拠点を持っていくかという話があった。バブルの絶頂期に大理石をいっぱい使ったこんな庁舎は何処へ行ったってない。行政のランニングコスト、イニシアチブをどう持っていくかということで、60年間というものを考えたときに、福野庁舎も城端庁舎も、文化財にはならない。可能性があるのは建築的にみて、この庁舎だけだ。大事にしていけないといけない。南砺市の近代建築の中で文化財になる可能性が高い。これを利用するべきだ。県庁も90年経ったら重要文化財だ。価値あるものを残しながら、お金を使わない。資料をみたら一目瞭然で、何もいうことはない。これだけ広域な地域で、自分たちの地域を守る為に地域事情があるのだから、皆一律にはならない。それでは前には進めない。きめ細かく足元をみてやってほしい。
- (委員) 皆さんのもう少し具体的な意見を、福光地域審議会としての意見を、資料をみて一目瞭然、だけでなく、プラスαの意見をお願いしたい。
- (委員) 資料の最後の方に「60年間ライフサイクルコストの比較図」があるが、これを見ると、31年目までは福光がコストも低く抑えられるし、一番いいと思うが、60年後までを見据えた理由はあるのか？ 30年後の事を考えるのが精一杯だと思うのだが、60年後になると福光のコストも上がっていく。比較試算表2の「60年間ライフサイクルコストの比較」で60年後の合計だとあまり差がない。30年後で一区切りということで合計金額も見るべきではと思う。もう一点、コスト的には福光が断然良いと思うのだが、自治振興会連合会の方からいろんな意見が出ている。本当に福光にした場合、行政面とか、位置的な面とかで都合が悪いことはあるのか？ 災害面・交通面でも私的には特に問題はないと思う。
- (上口担当部長) 60年間ですべてを試算したかということ、2ページ下の4「庁舎機能再編検討結果」ですが、公共施設が機能を発揮する、耐用年数は税法上のものです

が、60年間は建物として、公共物として機能を有する、60年を過ぎると、人間と一緒に、いろんなところが痛くなっていくということで、60年で切って試算した。7ページの「60年間ライフサイクルコストの比較図」をご覧ください。何処で切っても良いということで60年で切ったが、21年目あたりの井波庁舎、福野庁舎の建替えの時期に切るとトータルコストが前後していく。福光以外の庁舎だと前後してくるので、より長い期間で見えていく方が良いということで60年で比較をしている。

(田中市長) 単純に言うと、新しいものを建てるか、既存のものを使うかということ公平に比べるために60年のコスト全体を比較するということだ。このグラフをみると1メモリが10億円だから、この差はとてつもなく大きい。そういう意味で60年後にも10数億違うということになる。建物として60年保つ、という前提で計算している。

(委員) 費用の面で60年間で出したというのはわかったが、60年後といたら、世の中の動きが、どんな時代になっているかわからないのでは？

(田中市長) 今、60年後の事はわからないが、新しく作るということは、今いる職員の入る面積分は作らないといけない。要は、今作る時は一番大きな物を作らないといけない。将来的には少しずつ小さくなっていくと思う。

(委員) 建物の耐用年数から60年サイクルというのはわかった。だが世の中の流れと整合性はあるのか。100年をみるときに、2016年から10年後の2026年、または2036年の間、もしくは2050年の間でこの国が無くなるかもしれないという危機感を持って計画をたてないといけない。そうでないと説得力がない。

(田中市長) その通りなのだが、スタートの企画ということで、60年サイクルで書かせてもらったということで理解いただきたい。先のことについては、マイナンバー制度によって、市役所の事務がどう変わるかは予想でしかないので、今考えられる単純な比較しかあげていない。

(委員) この4ページの振興会連合会の意見は良く考えて出された意見ではないと思う。この場で福光地区からの意見は出なかったが、資料を見せられて、すぐ思いつきで言った意見もあると思われるので、こう言う形で出されるのはおかしい。出しては駄目だと思う。

(上口担当部長) こういう意見があったという事で、情報提供の意味で出している。

(委員) この資料を出すと、福光に持ってくるしかないという感じになる為に、この様な意見を出したのだと思うが、福光の意見が入っていないのでは？

(上口担当部長) 振興会連合会の意見が割れているということでしたら、もう一度、説明させていただきたい。

(田中市長) 担当の方でもう一度、精査して確認する。先程の話の様にこれをみれば一目瞭然だからということではなく、庁舎についていろんな意見を聞きたい。

(委員) 現在ある庁舎の地面で、南砺市所有の土地ではない、リースの土地もあるのか？

- (上口担当部長) 一部ある。その土地は購入する、という事で試算の中に入っている。
- (田中市長) 振興会連合会からのいろいろな意見があるが、総じて、大きく分けると、新しく建てないと駄目だという人と、今ある物を使えば良いという人がいる。今ある物を使うという中で、昨日も、井波の体育館が空いたとか、どこかが空いたという話になる。これは、計算すると、今あるこの表に書いたものが一番コスト的に安くなるはずだ。氷見の体育館を例に出した方もおられるが、あそこも20億程かかっている。既存のものを使うと考えた場合には明確にコストは出すが、そこまで比べることもないと思い、まずはこのパターンを一回目にお示しした。
- (委員) 氷見や射水、呉東の元の庁舎はとても古かったから新しく建て替えたわけで、昭和60年頃に建てたこの庁舎とは全く違う。先達の方々が建ててくれたお陰で、恩恵を受ける事ができる。この辺のことをしっかり考えてほしい。
- (委員) 資料を見て、振興会連合会の意見というのは、跳ね返り的な意見も出たわけで、5ページに書いてある7番と8番を基本的な物差しとして、この視点で話をされた方が良くと思う。これから、財政的に厳しくなってくる。国からの補助はこない。福光的とか福野的な議論ではいけない。7番・8番の視点で南砺市的な視点で話し合ったほうがいい。
- (田中市長) 他地域からも今後いろいろなことを言われると思うので、一つ一つ反応するのは難しい。南砺市全体の事を考え、それをそれぞれの地域で考えて頂くのが大事だと思う。そのためのご意見をいただききたい。
- (上口担当部長) 4ページの振興会連合会の意見については、後ほど出る意見も全て説明していく。7番、特に8番の視点でコストばかりではないよ、と言いたかったのだが、少し言葉が足りなかったと思っている。今後注意して意見を伺っていきたいと思っている。
- (委員) 7番、8番を強調して言った方が南砺市全体的な話になってくると思う。
- (上口担当部長) 7番では市の考え方を、8番では皆さんにこの視点で考えていただきたいという思いが伝わらなかった。
- (委員) 住民の意見として振興会の意見を尊重して頂くのはありがたいが、また違った意見もあるので、抜けている点はきちんと補充していただきたい。市議会に対してのコメントはしっかり載せてあるので、振興会連合会の意見に対しての市のコメントも必要だろうと思う。そうじゃないと自治振興会連合会の意見だけが強くなる。バランスをとって欲しい。
- (田中市長) 最終的には自治振興会連合会、地域審議会の意見、また個別の審議会の意見は重要だと言う事で回っている。当然、皆さんの意見を聞いて、一つ一つ返事をどのような形ですか、という事を今後考えなければいけない。わかりました、市は検討します、というのではなく、今の考えを入れて最終的にまとめ上げていくものだ、と認識いただければと思う。
- (委員) 市議会と市の協議は4回あったが、今後の予定は？

- (田中市長) 最終的には議会の議決が必要だが、行政としては審議会というのが我々の一番重要な条例に則った団体であり、しっかり意見を聞きたい。市民の皆さんの意見を聞く場面も作っているが、これはまさに聞くと言う事を前提に、いろんな意見が出てくるが、地域審議会、意見交換会で8つの地域を回りたい。
- (委員) 新庁舎の建設場所は市の面積から中心を求める方法、人口から中心を求める方法、どちらにしても、道路のアクセスが何もないところに作る可能性が高くなる。接続道路などを整備していくのに費用がかかる。新しいものを建てる時、そこに人が住んでいれば、その辺も考えないといけない。最後に決める時は、経済的な事も大事だが、良く考えてこれがベストだと思えるようにして欲しい。
- (委員) 福光庁舎を建てる時、この町内は4分の1無くなっている。その協力のうえに建っているので、先祖に申し訳がたたない。軽々しく言ってもらっては困る。福光庁舎の用地に45軒あった。他に行って建てたらお金がかかる。ここは、一番安くできる。それに国道に近い。災害になっても市道とは基準が違う。次の若い人に繋いでいく時には大切なことだ。
- (議長) 今後いろいろな話が出てくると思うが、各地区に戻られて話をさせていただいて、ぜひ後世に悔いが残らない、福光に悔いが残らないものを、ということで福光地域審議会は方向性を示したいと思う。今後とも皆さんのお力添えをよろしくお願いしたい。

議題 南砺市行政改革推進委員の推薦について
福光地域審議会として推薦をいただく

副会長挨拶 今日には市民の最大の関心事である庁舎再編についてだったが、先程の意見にもあった通り、7番・8番の視点はとても大事だと思う。7番・8番に関して、客観的な資料を沢山出して、市民の声を多方面から、一方的なものではなく、いろんな意見をできる限り聞いて判断材料にさせていただくよう願っている。今日はお疲れさまでした。

○閉会 (事務局 行政センター長から閉会の宣言を行う)